図書館だより

R５年１１月号

福田美佳先生のお薦め本

『宙（そら）ごはん』　　町田そのこ

　自由奔放な母親にたびたび振り回されながらも、保育園児から高校生へと成長していく主人公の女の子「宙（そら）」の姿が、節目節目で彼女を励ますおいしいごはんとともに描かれています。

　その温かさや匂い、食感まで伝わってくるような描写と、宙を支える大人たちの言葉や行動が素敵です。

　　悲しく切ない場面もありますが、読み終えてじーんと
　　温かい気持ちになる一冊です。
　　何だか疲れてしまったぁという時におすすめです。

司書のお薦め本　　『いとエモし。』

サブタイトルは「超訳 日本の美しい文学」。
日本のさまざまな古典の中から「エモい！」と思う作品を選んで作者が現代語の訳をつけて、現代のイラストレーターの絵で飾った本です。たとえば

　　思いつつ　寝ればや人の　見えつらむ　夢と知りせば　覚めざらましを（小野小町）
　　↓
　　「あーあ。会えてめちゃくちゃ嬉しかったのに。
　　夢だってわかってたら、ずっと寝てたよ。」

絵と文章のコラボレーションがすてきです。